

令和元年12月13日

磐田市長 渡部 修 様

磐田市議会議長 寺田 幹根

### 公契約関係競売入札妨害事件に対する提言書

前磐田市副市長、元磐田市都市整備課長、元菱和設備株式会社浜松支店長が逮捕、起訴された事件を受け、磐田市議会は原因究明と再発防止策を調査事項とする公契約関係競売入札妨害事件に関する調査特別委員会（以下「特別委員会」という。）を設置し、平成31年3月18日の第1回からこれまで19回にわたり市当局から提供された資料の説明及び質疑を通し、原因究明と再発防止策に向けた協議を重ねてきた。令和元年8月19日には、公契約関係競売入札妨害事件に関する原因究明と再発防止策について、磐田市議会として申入書を提出した。

その後、特別委員会では検証・議論を重ね、コンプライアンス意識の低下や職場環境の問題、入札制度等複数の原因があると判断し、早急に風通しのよい組織を構築し、市民の信頼を回復することを求め、以下、最終提言を行う。

### 記

#### 1 コンプライアンス・ガバナンスについて

- (1) 「(仮称) 磐田市コンプライアンス委員会」は、再発防止対策検証委員会委員のほか、公募による市民、磐田市職員団体、磐田市労働組合団体、女性団体等からもそれぞれ委員を選出すること。
- (2) 慣行・慣例の見直し等、組織体制の検証・改善を継続的に実施すること。
- (3) 職員倫理規程ガイドブックは具体的な事例等も掲載して作成し、わかりやすく効果のある内容にするとともに、研修を定期的で開催し、理解度を高めること。
- (4) 公益通報制度は、対応する相談員の体制を整備し、匿名の通報にも対応する等、活用しやすい制度とすること。
- (5) 職員の公正な職務の執行やモニタリングの強化を図るため、内部統制の仕組みを確立すること。
- (6) 技術・知識の面で民間に対応できる専門職の設置や採用、資格取得を進めること。

2 入札制度について

- (1) 建設事業審査委員会に対する監視体制を強化・構築すること。
- (2) 入札制度については、県や近隣自治体の現状とも照合し、総合評価方式やランク分けも含め、定期的な見直しを図ること。

3 前副市長への対応について

今回の事件に対し、判決で最も重い懲役1年6カ月（執行猶予3年）が言い渡された前副市長に対し、副市長在任期間に係る退職金の自主返納等責任を求めるよう検討すること。

4 市民への説明について

公契約関係競売入札妨害事件の原因と再発防止策を、市民に広く周知すること。

5 議会への対応について

「(仮称) 磐田市コンプライアンス委員会」への対応と同様に、市からの実績・進捗報告や市に対する意見・提言・助言に関しては、磐田市議会にも情報提供する体制とすること。

以上